



アニメ版 <http://ascension-hokuriku.net/memo/kongent-sinnen2023.1.1.gif> 赤(太陽)と青(水)と緑は、光の三原色?! 地球は根源太陽から生まれた、愛の光の星!!^^

2023根源太陽新年

明けましておめでとうございます!!^^

太陽の光が、美しい虹を描き出す!

それは、私達の中心“ハートと魂”から輝き出す、

愛と夢、希望、感動、喜びそのもの!!

新たなる神話のはじまり。。

天地開闢 2023

新しい地球に生きる私達一人ひとりが、クリエイターであり主役です!!^^

2022年12月に、旧地球史最後?!の白山比咩神社日参(21日間)を行いました!!^^

日中は仕事があるので、どうしても朝晩の暗い時間帯の参拝となってしまいます

夜の白山さんでは、不気味な鳥の鳴き声を聞いたり、雪に?の動物の足跡が残っていたり、出会ったり?!
ブツブツと不審な祈りを捧げる人?がいたり…という、ちょっと怖い経験がありますが

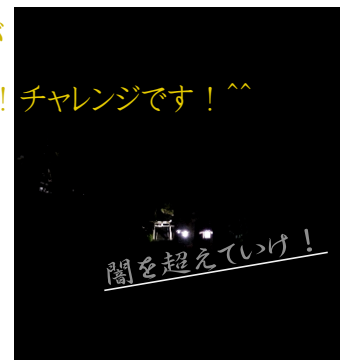
自身の直感を信じる! 浮かんでくるふとした思いを、行動に移すことが大事! チャレンジです!!^^

白山比咩神社表参道は、あの世とこの世をつなぐ“黄泉比良坂”?!

日参について、ブログで発進しようとした時、最初に出てきたのが

「ここは“黄泉の国”——」という言葉で

ああ、やっぱりか!と、あらためて思った(状況を認識した?)地上セルフでした



(ブログは地上セルフが書いていますが、ハイアーセルフの言葉が降りている？と思う時があります)

今回の日参のキーワードは、“黄泉の国”かしら。。

今何故、黄泉の国？——

自身にとって黄泉とは、暗い夜の世界のイメージで、月黄泉(月夜見、月読)でもあり、月が連想されます

最近、“月”にフォーカスする事が多くなっている感じ？

自身の系統(宇宙史)に関わる、中今重要なミッションがある！？という事なのかもしれません^^

「黄泉(よみ、おみ)とは、日本神話や聖書における死者の世界のこと。」(ウィキペディアより)

とあるように、一般的には、死後の世界をさす言葉であるようです

黄泉比良坂は、この世とあの世(黄泉の国)の境い目

日本神話には、伊邪那岐命と伊邪那美命の、喧嘩のシーンが描かれていて

あの“菊理姫”が神話の中に登場する、唯一の場面でもあります^^

今何故、黄泉の国？が少しずつ見えてきた感じです

日参第一日目、白山比咩神社拝殿の前にて、感謝と決意を述べました

後ろを振り向くと、何故か懐かしい？思いのする美しい月が、静かに見守ってくれていた気がして

その時感じたことを動画にしてみました



<http://ascension-hokuriku.net/memo/2022.12.10.gif>

白山さん上空に輝く月の中から“菊理姫”が現れ、その背後にあったGWBHが
根源太陽の御子“菊理姫”を核心とする、新生GWBH(ニュー・グレート・ホワイト・ブラザー・フッド)

となって顕現?! 地上から根源の∞の光(ミロクの光)が、どんどん拡大していく——

という感じです^^

“白山菊理姫”と“新G(WBH)”——月と日の統合——というタイトルにしましたが

正直、地上セルフはよくわからないまま(ただなんとかな~く)描いています

タイトルと動画は、その時ハイアーセルフ(&ネットワーク)から受け取った“圧縮ファイル”?であり

地上セルフが後から、ジワジワと解凍していつている…という感じでしょうか?^^

根源の光の出現がテーマですが、真っ暗な空に、いきなり太陽!では、どう考えても不自然です

夜空には月があり(今浮かんだ言葉)、その月の中から太陽が輝き出す感じなら、OK ではないでしょうか？

“菊理姫”は、そのような存在(太陽の女神であり、月の女神でもある?)では？と

アセンション(意識の進化・上昇)とは統合であり、宇宙史において分離してきたものを再び統合し
一なる源(根源)へと帰っていく道のりのこと

月と日の“くくり(統合)”の役割が、“菊理姫”なのだと思います^^

夜空とは、これまでの宇宙(&地球)の象徴で、そこにあるのが月であり、黄泉の国の伊邪那美です
闇に隠れてしまった伊邪那美とは、“女性性”の事でもあるのではないのでしょうか？

そこで、神話に登場する菊理姫です^^

天照大神(三貴神の一柱)に関しては、黄泉の国から逃げ帰った伊邪那岐命が
小門の阿波岐原で禊をした時に生まれた神(なんかおかしい…でもありました^^)、という知識しかなかったのですが

日本書紀(菊理姫が登場するのは、日本書紀の一書のみです)の本文には、別の表記がある事を知りました

国生みを終えた伊邪那岐・伊邪那美命が、共に「天下の主となるものを生もう」といい

その時誕生したのが、「此の子、光華明彩(ひかりうるわしく)、六合(あめつち)の内に照り徹(と)おらせり」

光り輝く太陽の御子、“大日靈貴”(おおひるめのむち、靈=女性の字<あざな>)でした

伊勢内宮ホームページにも“光華明彩”が謳われています

二神はたいそう喜び、あまりに尊いので、すぐに天上へ(天の統治者として)昇らせてしまったのだそうです

“大日靈貴”=“天照大神”と言われる事を知っていましたが、単なる別名としか思っておらず
ですが、こちらが元祖天照大神?とでもいうか、禊の後に伊邪那岐命から生まれたとされる天照大神の

ハイアーセルフ(高次)のような存在なのではないのでしょうか？

神話は多次元同時存在の宇宙を表すものでもあり、同じ名前や地名でも、全く同じではないのだと思います

日本書紀では他に2か所、天照大神(大日靈貴)誕生シーンが描かれているようです

黄泉比良坂に現れて、伊邪那岐と伊邪那美を仲裁したのは

二神が共に生み出した、この最初の天照大神=“大日靈貴”であり、それは“菊理姫”の事でもあった!?

伊邪那岐命が納得し、褒めた言葉とは、「お二人の子供、私が(出番を)待っていますよ!」という

嬉しい未来の預言だったのでは?!^^

(「褒めた」という言葉に、自分より目下で、良く知っている存在?というニュアンスを感じます)

伊邪那岐・伊邪那美の両親(神)が仲違いをしたままでは(男性性と女性性のアンバランス)

幸せなタイムライン(根源へと帰っていく進化・上昇ルート)につながりません

“菊理姫”は、“根源太陽母神”(究極の愛の源)の子供であり、根源の愛のメッセンジャー(使者)です
大日靈貴(天照大神)の更なる高次の存在でもあり、未来(根源)から来て今を変える、ウイングメーカー!^^

菊理姫が謎とされるのは、とても高次元(根源太陽神界)の存在なので

地上の人の意識レベルでは捉えにくい…、見え辛かった…、という事なのではないのでしょうか？

黄泉比良坂の場面では、泉守道者(よもつちもりびと)なる?の存在がでてきて、伊邪那岐と伊邪那美

伊邪那岐と菊理姫の間に入り、通訳のような役目していて、この人いる？(笑)と思っていた私ですが

伊邪那美(黄泉の国、月)と、伊邪那岐(この世、地球)と、菊理姫(未来、太陽)という

異なる次空をつなぐ、波動(エネルギー)変換装置の役割だったのかも？と^^

黄泉比良坂は、この世とあの世 = 宇宙の様々な時空を渡る、次元間通路でもあるのでは？！

自身がこれまでフォーカスしていた天照大神は

伊邪那岐命から生まれた、男性性を中心とした、その時代の役割をもつ太陽神で

これからは、男性性と女性性がより統合された天照“大日靈貴”が輝く時代なのではないでしょうか！

“光華明彩”

この上なく、華やかで、明るく、彩色麗しい陽の光が、地上の隅々まで照り榮える——



その光は、私達日の本の民の、“ハートと魂”の奥に、いつの時代も息づいていました

大日靈貴(天照大神)は、皇室の祖、日本人の親神さまです^^

私達が生きている(意識を置いている)この世界は、実は、複雑怪奇?!な幻想社会でもあり

様々な情報が飛び交う中、今何を信じて進むか？が

これから個々が生きていく未来の様(形)を決める、最も重要な点なのではないでしょうか？

“天皇制”は、人や家柄ではなく、魂で感じるもの、魂が求める道

天と地、神と人をつなぐ揺るぎない“愛の柱”であり、消えることのない“天(愛)の道”なのだと思います^^

日参最終日前日(29日)に、初の大野湊神社正式参拝をさせていただきました！




神界と天界、日本とユダヤ、大和と出雲等、様々な二極が共存するとともにスケールの大きな神社

というのが、自身が大野湊神社に感じる事で、その中心は、“天照大御神”です^^

最近、ここは古代“シュメール”に関係の深い場所なのでは？と思う事があり
もしそうだとしたら、自身が漠然と感じていたこれらの思いが、より鮮明となる気がします
シュメールは、世界最古(メソポタミア文明)の文明都市とされ
シュメール=シュメル、スメラでもあり、祭祀を司る“スメラミコト”を中心としたグループと
政治・軍事を司る“スサの王”(スサノオ)を中心としたグループが存在したとされ、それが後の
日本の“大和族”と“出雲族”につながるといわれます(もっと遡ると、その源は日本?!^^)
事実かどうか？私にはわかりませんが
いろいろな“場所”や“時”が、今ここに重なって見えてきているような？不思議な感覚です^^

大野湊神社は、猿田彦大神=道開きの神！
天地開闢?! 新たなるはじまりの時2023年を迎えるに相応しい、聖なる神域！ 感謝です^^



こちらは、2022年8月8日に撮影したのですが、大野湊神社の神紋は 
“洲浜紋に波”と呼ばれるもので、青く光輝く大海原が連想され…大宇宙へと意識が向かいます
両脇の神輿は、大海原を切り開いて進む戦艦、煌びやかな宇宙船のようです^^
参拝の最後に、神主さんの打つ太鼓が響き渡り、ビックリ?!
心臓が躍り出してしまいそうなほどのパワーを感じ、普段の私なら目を閉じる所ですが
しっかりと見開き、イスに腰を据え(目をつむると、どこかに飛んで行ってしまいそう…)、グラウディングを意識し
その場の中心に“**根源太陽**”を強くイメージしました！

恐るべし太鼓(太鼓)の威力?! 帰ってネット検索してみると
「太鼓の起源は、紀元前2500年ごろのシュメールの壁画に見られる」と出てきて、ピンポン!
太鼓は祭器でもあり、自身は時空を超えたシュメールの祈りの場と、共鳴していたのかもかもしれません^^
広がっていく太鼓の音は、強烈な太陽フレアのようであり、肌を焼き尽くしてしまうほどの“**愛の情熱**”と感じました
参拝を終えて境内傍らの大きな池へと向かう途中、上空に一瞬、銀河の星々が見えた? 気がして
“**今ここに、全てがある**”と感じる、とても素敵な、大野湊神社初正式参拝でした^^

2022年12月30日、日参最終日は、白山比咩神社昇殿参拝をさせていただきました！^^

午前10時の参拝に間に合うよう、車で家を出た途端！

今日の参拝は、これにて到着?!(笑)と思う光景が広がっていました^^

正面には太陽が燦爛と輝き、雨で濡れた路面に反射し、前が見えないほどです

全世界が、眩いプラチナの輝きに包まれ、その中を太陽へと向かう、真っ白な一本道!!

これが、私の進む道?!

神は、言葉や形ではなく、大自然そのものである事が、本当にわかった気がしました

久しぶりの正式参拝、御祈願の内容は長い年月続けてきた“心願成就”!!(気合をいれて!)ですが

いつも同じ事を思い、考え、言い続けているので、いざという時(神前では)頭空っぽ。。。 (笑)

ただ感謝の気持ちしかありません

自身にとって、白山比咩神社における心願成就の祈りとは

「いつかお役に立つ、人となれますように——」であり、その**明確な答えを得る時が今!!**

少しずつ理解されてきたその中身、自己の今世のミッションは

NMC(新宇宙)の中心軸=太陽(魂)の道、“グレート・セントラル・サン・ネットワーク”

宇宙で最も古くて、中今最も新しい、魂(生命)の進化を司るマスター集団である“新 GWBH”!

その正式メンバーとなり、地上におけるNMC創成の実働部隊となる事です

たった今気付いた事?!

自身はいつの間にか、その言葉を言わなくなっている。。。 = **もう、そうなっている!!**です(^)v

(深く考えるのはやめておきます、笑)

その日の昇殿参拝で、一番印象的だったのは、巫女舞です

舞台の中心に立ち、手を上げ下げしながらクルクル回る巫女さんの姿が、時計の針のようにも見え

新しい時の流れ、タイムラインが動き始めた?!

と、感じました

∞の光を放つ蓮の蕾が、しなやかに花開いていく、美しい光景でもありました

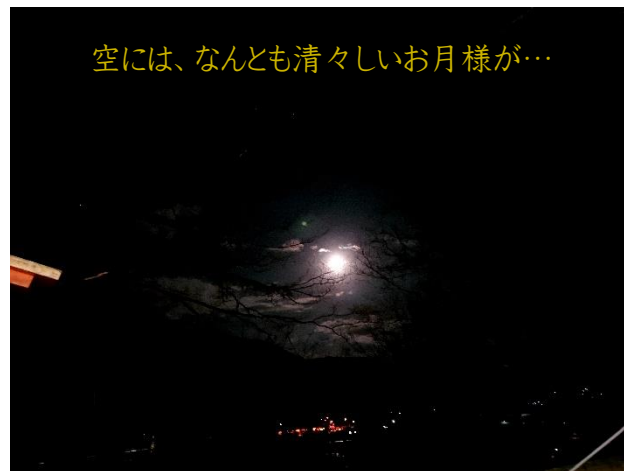
黄金の光の国、弥勒の世のはじまり。。。

日参途中には、寒波のピンチにも遭遇しましたが、無地終了することが出来ました!

暗いうちの白山さん一人参拝は、もうこれで終わり！と思っていたのですが、新年6日

またしても？早朝参拝となりました

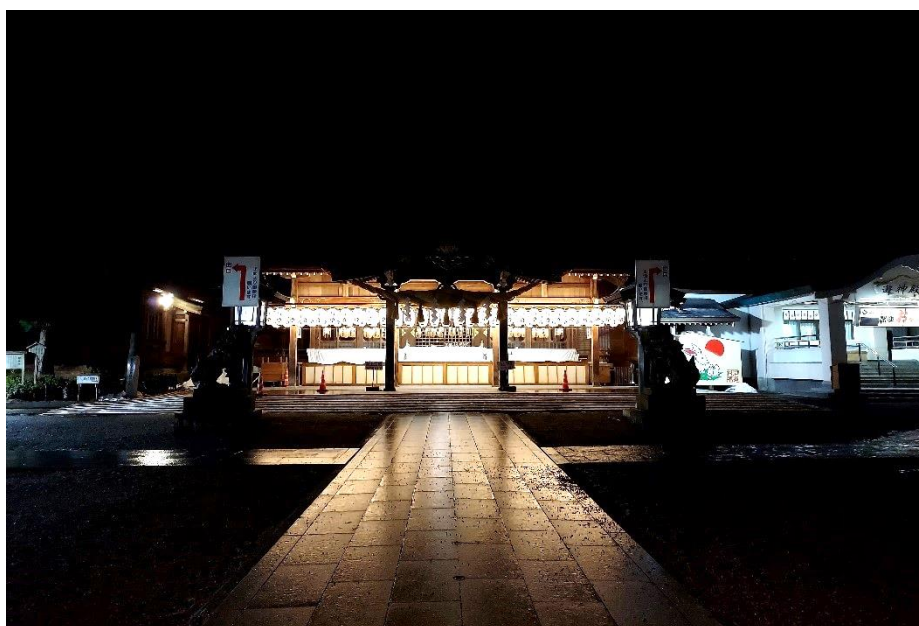
(お正月は、普段参拝に来られない方にお譲りしたいと思うので、4日以降を心掛けています)



あらっ、想定外の景色！年明け6日はまだ、“お正月バージョン”でした？！



神門前には、酒樽がずらりと並んでいて、ウキウキしてきます！(ちなみに地上セルフは下戸です^^)



ゴールド？！今度は、黄金色の道。。。？



まるで、金の延べ板を敷き詰めたかのような正中?!

(あつ、もうはじまっているとされる新しい経済システム、金に裏付けられた“量子金融システム”?なるものが浮かびます^^ 新時代の富の象徴?)

荘厳で、美しく、晴れがましい“はじまりの舞台”に、一人立っている自身が奇跡のよう!!

もったいない(申し訳ない)気持ちもありましたが、自身のこれまでの全て(全宇宙史)に対する
神様からの **ご褒美!** ^^ と思うことにしました! しあわせ~

地上セルフには、想像も出来なかった



いつもはポツンと淋し気な神馬舎が、今日はピッカピカ?!

そっかー、馬は、絵馬! **たくさんの願い事=“夢”と“希望”に囲まれています!** ^^

横を通った時、白馬さん(白山比咩の神馬)のヘルプモード?! …というか、ちょっと焦ってる感じのお顔に見えたような。。

私の分もお願いします!(笑) 手伝うからね! ^^

最高に楽しい 2023 年を、皆様と共に!!

2023.1.8 皇美・流美